

インターネット取引のトラブル(3) アフィリエイトと ドロップ SHIPPING

原田 由里
Harada Yuri

一般社団法人 EC ネットワーク 理事

2006年4月EC ネットワーク設立。ネット取引のトラブル相談にオンラインで対応。消費生活専門相談員、消費生活コンサルタント、消費生活アドバイザーの資格を持つ。

アフィリエイトとドロップ SHIPPING は、どちらもインターネット(ネット)の広告を使って個人等が収入を得る手法として知られています。

違いを一言で言うと、アフィリエイトは「広告」による収入形態の1つで、ドロップ SHIPPING は「通信販売(通販)」による収入形態の1つです。これら手法そのものに問題はありませんが、個人がこれら手法を使ってネット上で広告を行う際にも、景品表示法*1や、商品によっては薬機法*2の規制がかかる場合がありますので注意が必要です。

今回は、これら手法のしくみを確認するとともに、トラブル傾向などについて見ていきたいと思います。



アフィリエイトと ドロップ SHIPPING のしくみ

自分の運営するサイト上に商品等の広告を載せるという点では同じですが、収入のしくみが異なります(図)。

●アフィリエイト

サイトやブログ等に販売者(広告主)の広告を載せ、閲覧者がそのサイトを経由して販売者のサイトへアクセスしたり契約したりすると、それに応じて報酬が得られるというシステムです。メルマガなどを利用する方法もあります。

*1 消費者庁 表示対策課「インターネット消費者取引に係る広告表示に関する景品表示法上の問題点及び留意事項」の一部改定について 参照
http://www.caa.go.jp/representation/pdf/120509premiums_1.pdf

*2 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

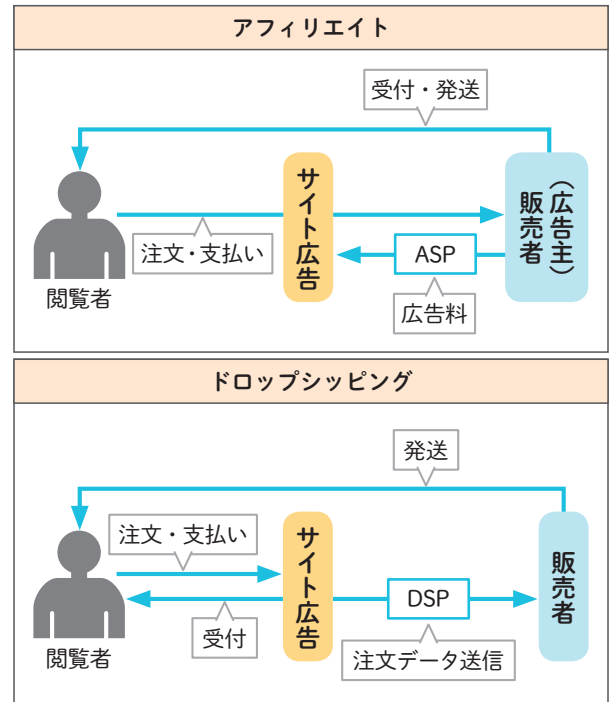


図 アフィリエイトとドロップ SHIPPING のしくみ

商品等を提供している販売者から個別に広告を取るのは煩雑なため、その間にASP(アフィリエイトサービスプロバイダ：広告代理店)が入ることがあります。これは、あらかじめASPに登録し、ASPが提供する広告を自分の運営するサイトで使用方法です。

●ドロップ SHIPPING

サイトやブログ等に広告を載せたうえで、注文も受け付けます。一方、商品発送は別の販売者が行うシステムです。サイト上で商品価格を自由に設定でき、販売者の卸価格との差額が利益となります。アフィリエイトと同様、それらをつなぐDSP(ドロップ SHIPPING サービスプロバイダ)が間に入ることがあります。

注文者(閲覧者)から見れば、そのサイトが直

接販売しているように見えるため通販となります。一方、商品在庫は持たなくてよいので、売れなくても損失を抱えることはありません。

しかし、卸価格自体はあらかじめ設定されており、価格交渉の余地がほとんどなく、市場価格と競争するには差額幅を狭くせざるを得ません。なお、通販として特定商取引法が適用されますが、表示する連絡先は、広告を載せた個人の代わりにDSPの所在地等が載っていることもあります。ただ、参入するためのハードルが比較的高く、後述の内職商法などに悪用されイメージが悪化したためか、現在、“まとも”なDSPは数えるほどしか残っていないようです。



アフィリエイトに関連する問題

事例1

(1) ブログサイトを利用して、アフィリエイトとともに趣味のレシピなどを掲載していた。このブログサイトは、アフィリエイト行為は禁止ではないが、それを主の目的としてはいけないというルールだった。ところが、突然、利用していた4つのブログをすべて強制非公開にされてしまった。不当な措置ではないだろうか。

(2) ポイントサイトに登録していたら、ポイントサイトから「タイムセール100%ポイント還元」の案内メールが入ってきた。商品は基礎化粧品のクリーム2個で6,000円だったので発注した。100%ポイントで返還される予定だったが、何の動きもなかったのでポイントサイトに連絡したら、「広告主より承認データが送られてこないの、条件を満たさずポイント還元は不可」と言われた。

広告主に電話で確認したら、「広告の流れは『広告主→A社→ポイントサイト』になっていて、間にA社が入っているの、ポイントサイトのポイント還元については詳しく分からない。ただ、気の毒なので当社のポ

イント1,000円分で納得していただきたい」と申し出があった。ポイントサイトに連絡しても無視されている。

事例1-(1)のように自分のブログ等を使用してアフィリエイトを始めるには、それを許可しているかをブログ等のプロバイダに確認する必要があります。規約内容を確認し、利用目的に違反行為がないかどうか、商用利用を認めているかどうかなどを確認してください。ASPを利用する場合、ASP側でも審査が行われます。

広告収入を利用したシステムの1つに**事例1-(2)**のようにアフィリエイト型のポイントサイトがあります。利用者(閲覧者)はポイントサイトに会員登録し、ポイントサイトを通じて商品を購入するとポイントがたまり、それを現金や電子マネーに交換できるようになっています。

ただ、ポイントをためても換金してくれない、メールが大量に届くようになった、また、ポイントサイト閉鎖の際、ためたポイントがすべて無効になるなどのトラブルが発生することがありますので、登録の際は事前に評判を確認しましょう。

一方、広告主側では、場合によっては間に広告代理店が複数介在することにより、最終的にどこに広告が出ているかが把握できていないこともあるようです。アフィリエイト業界全体の健全化が望まれます。



内職商法やマルチ商法的な手口

事例2

(1) 「メール受付業務・時給1,500円」という求人広告を見て申し込んだ。業務用のサイトを専用で立ち上げる費用が必要ということで30万円支払った。最初は問い合わせメールが届いていたが徐々に減り、担当者から「バージョンアップが必要。費用を負担してほしい」と言われた。

もう負担したくなかったので、このまま業務を進めるといったが受け入れてくれない。サイト上の個人情報(自分の連絡先を記載)を消してほしいとお願いしても「無理」と言われ担当者と連絡が取れなくなった。(2)自宅でできる高収入な仕事を紹介しているブログがあった。そのブログ上で最高の情報商材と評価されていたため、まずはブログを通じ、その商材を15,000円で購入した。

情報商材に書かれていた仕事とは、管理代を毎月10,800円支払ったうえで、単価3,200円の健康食品を販売する仕事で、先に自分で在庫分の購入が必要だという。1日必ず10個売れる、利益率50%というので、在庫分として単価1,500円で100個、カード払いで注文した。その後、自分専用の商品販売サイトにブログやSNSから客を誘導するのだが、手間がかかる割に商品はまったく売れない。

調べると既に被害者の会ができており、他のメンバーも口々に「1個も売れていない」と言っていた。売れたのは自分で購入した分のみだという。

(3)知り合った男性とSNSのID交換をして食事に行くことになった。先輩と名乗る人が一緒に来て「アフィリエイトでもうかるビジネスがある」という話をし始めた。

断ったが「君と一緒にやりたい」「やるしかないでしょ」と言われ断れなくなった。その場で私のスマホから勝手に契約され、登録料約20万円を支払うよう言われたので、「お金無いです」と言ったが、「キャッシングすれば大丈夫」と言われた。やっぱりやめたいと言ったが、「海外の会社だから無理」「まずは友だち2人誘ったら」と言われた。こんなのに誘ったら友だちを無くすと思う。

アフィリエイトやドロップ SHIPPINGは、自分の運営するサイトやブログがあれば、ほぼ無料で始められるものです。もちろん売れなければ収入に結び付きませんが、少なくともマイナスになることはありません。しかし、高額収入をうたって勧誘し、その業務に必要なサイト制作や管理運営サービスの有償契約をしたものの、実際は収入が得られないという内職商法等の手口として、これら手法は残念ながら悪用されています。もうけ話の情報商材が入り口となるケースが多く、その情報商材の販売自体もアフィリエイト(アフィリエイトをする人)による集客がなされます。

事例2-1はドロップ SHIPPINGを悪用したものです。広告表示義務としてサイト上に自分の連絡先を表示しています。しかし、サイト管理は相手事業者に任せているため、自分の意思でサイトの記載内容変更や閉鎖はできません。そのため別の悪質事業者から「もっと売れるようにする」などの勧誘を受けることもあり、二次被害につながる可能性があります。

事例2-2は、アフィリエイトを悪用したものです。商品広告を行う際、一般的なブログサービスやSNSを利用する点は本来のアフィリエイトと同じですが、販売者の販売する商品を事前に仕入れなければなりません。仕入れ額との差額が利益となるしくみはドロップ SHIPPINGに似ています。

事例2-3は、アフィリエイトでもうかるとうたい、実際は登録者を増やすことが目的の海外のマルチ取引です。主にSNSで勧誘を行い、若い世代がターゲットになっています。

これらの事業者は、事業者間契約を強調し消費者保護の対象ではないと主張したり、海外事業者として日本のクーリング・オフ制度の適用を認めないケースもあります。

アフィリエイトやドロップ SHIPPINGを始めるのに何らかの費用負担を求められたら警戒が必要です。